

有職京人形司大橋式峰

—京の五節句と年中行事で「百歳雛」を展示！

京都
上京区

京の暮らしの文化普及啓発実行委員会が主催する「上京暮らしの文化プロジェクト」では、「京の五節句と年中行事」と題した催しを実施している。いけばなや織物、人形など各社の協力を得て京文化を発信することで、京の暮らしに関する文化の継承につなげたいというのが狙いだ。

五節句ということで7月の七夕に続き、9月は「重陽の節句」をテーマに展示を実施。9月6日(月)から10日(金)まで、京都市にある上京区総合庁舎1階の区民交流ロビーにて、菊のいけばなや京を代表する織物をはじめ、雛人形「百歳雛(ももとせびな)」が展示された。今回の展示に協力したのは、京都市上京区にある有職京人形司大橋式峰だ。白髪がめでたい「百歳雛」について、大橋義之社長は「江戸時代から健康と長寿を祝う人形とされてきた百歳雛。還暦や米寿のお祝いとして喜ばれるだけでなく、後の雛でも飾られます」と話し、こう続ける。「数年後、京都に文化庁が来る予定。京文化はもちろん、五節句の文化も発信できるように今後も協力していきたいです」。



◆◆報告②【次回予告】◆◆

次号の「報告②」では埼玉県さいたま市岩槻区で開催される「第8回人形のまち岩槻 重陽・菊の節句」

をレポートします！10月9日(土)から約2週間にわたり、参加店や岩槻駅周辺にてイベントが実施されました。料亭や資料館で実施された「重陽食文化めぐり」「後の雛めぐり」についても報告します。乞うご期待！



二〇二一 (令和三年)

重陽の節句

報告①
東京・京都・大阪編

重陽の

後の雛 大人の雛祭り
重陽の節句である新暦9月9日、旧暦10月25日に合わせて、各地でイベントが開催されました。自社での開催をはじめ、地域のイベントに協力する各社から情報を寄せいただきました。その様子をお伝えします。

株式会社吉徳

—重陽の節句「わたしのおひなさまフェア」開催！

東京
浅草橋

株式会社吉徳浅草橋本店の1階売り場に設けられた「わたしのおひなさまフェア」コーナーには煌びやかで上品な親王飾りが並び、「大人の雛祭り」にぴったりな雰囲気となった。今年も「単品コーナー」は健在で、桜橘な雪洞などの御小道具や小物類をはじめ、屏風の種類も豊富に並べられ、自由に組み合わせる楽しさを味わうことができる。

「重陽の節句と聞いてピンと来る方は年々少なくなっていると感じるが、店頭の見板を見て、ふらっと立ち寄られる方もいます。



感染症流行の最中なので集客は難しいが開催できてよかった」と担当者は振り返る。

今年は8月16日(月)から10月8日(金)までの間、開催された。



株式会社松よし人形

—庭園付き料亭「天王殿」にて七段飾り披露！

大阪
天王寺

大阪府大阪市天王寺にある「天王殿」は昭和23年創業の格式ある料亭。2019(令和元)年6月28日には、G20大阪サミットに出席した各国及び招待国外相を招いた夕食会が行われた場所でもある。

この料亭で9月7日(火)から9日(木)までの期間、実施されたのが「重陽の節句」を祝う特別会席。参加者は、G20の夕食会が行われた大広間「鶴亀」に集った。併設された能舞台には、重陽の節句を祝うため、株式会社松よし人形の雛飾り「七番袋帯」が飾られた。小出道子社長は「お客様同士が向かい合うことがないよう、皆さん雛人形が飾られた舞台を向いてのお食事。美味しい会席を味わいながら、雛人形を愛でただくことができました」と話す。

感染対策バッチリの中での食事と雛飾りが、参加者を笑顔にしたようだ。

